



我孫子市 食育だより



～おいしく楽しく食事をしよう！～

近年、メディアではSDGs^{エスディージーズ}（※1）や17歳の環境活動家グレタ・トゥンベリさんの取り組みが取り上げられるなど、環境に関する関心が高まっています。

環境のために自分でも何か取り組めることあるかな？



環境について子どもと一緒にできる取り組みは何かあるかな？



と思ったことがある方もいるのではないのでしょうか。

我孫子市では、4月から環境にやさしい農業「あびこエコ農産物」の取り組みが始まりました。生活に身近な「食」から環境のための取り組みを始めてみませんか。

農業は環境にどう影響するの？

農業では化学肥料や農薬が広く使われています。生育を助け、害虫や病気から農作物を守る働きをし、農業の生産性は大きく向上しましたが、一方で、過剰な肥料や不適切な農薬使用による水質汚濁や肥料成分由来の温室効果ガスの発生、自然生態系への影響など、環境に負荷を与えることが心配されています。

よく耳にする有機野菜（農産物）ってなに？

エコ農業の代表的なものとして有機野菜（農産物）があります。名前を聞いたことがある人も多いのではないのでしょうか。有機野菜とは、「化学的に合成された肥料及び農薬の使用を避ける」等の条件を満たし、有機 JAS 認証を受けた農産物のことをいいます。有機野菜づくりは、環境への負荷を出来る限り低減した環境にやさしい農業といえます。

じゃあみんな有機農業に取り組めばいいじゃん？



有機野菜は、農薬や化学肥料を使わない分、外的影響を受けやすいため栽培が難しく、手間やコストもかかります。認証の手続きに要する手間も同様です。そのため、有機野菜は、一般的に慣行栽培（※2）の野菜に比べて価格が高くなります。一方で、多くの消費者は、国産であれば一定の安心感があり、価格が安いものや見た目が良いものを求める傾向があります。こうしたことから、有機農業を始めても経営が軌道に乗らずに止めてしまう農業者さんが少なくないのが現状です。

※1…SDGs とは、「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。国連加盟 193 国が 2016 年から 2030 年の 15 年間で達成するために大きな 17 個の目標が掲げられています。

※2…慣行栽培とは、各地域の一般的な化学合成農薬及び化学肥料の使用量による栽培のことです。

我孫子市独自のあびこエコ農産物の認証が始まっています

有機野菜が「化学的に合成された肥料及び農薬の使用を避ける」等を条件とするのに対して、我孫子市が認証を始めた「あびこエコ農産物」は、千葉県で慣行的に使用されている化学合成農薬と化学肥料の量を20%以上減らして栽培された農産物です。

例：にんじん (秋冬どり)	農薬有効成分回数 (≒総使用回数)	化学肥料の 窒素分量
慣行レベル	18回	15kg/10a
あびこエコ	14回以下	12kg/10a以下

20%減



あびこエコ農産物に貼られているシール

消費者の視点から見れば、20%削減では有機野菜に比べて魅力は少ないかもしれません。有機野菜以外にも50%以上削減のちばエコ農産物や特別栽培農産物などもあります。



ちばエコ農産物に貼られているシール

しかし、環境のことを考えたときに、限られた農家さんだけが頑張っただけではエコ農業は定着しません。環境にやさしい農業を広げるためには、多くの農家さんが少しずつでもエコ農業に取り組むことが必要です。20%削減であれば農家さんの負担は比較的少ないため、あびこエコ農産物の価格は慣行栽培の農産物とほとんど差はありません。我孫子市は、農家さんにとって作りやすく、消費者にとって買いやすいあびこエコ農産物で、まずはエコ農業の裾野を広げていきたいと考えています。

“農薬を「使わない」とか「減らす」って“健康”に良いからじゃないの？”



農産物に使用する農薬の使用基準は、物質ごとに毎日一生涯摂取し続けても健康に悪影響がないと推定される1日あたりの摂取量(ADI)をもとに設定されています。そのため、農薬の用法用量を守って適正に使用された農産物であれば、有機野菜やエコ農産物でなくても安心して食べることができます。有機野菜やエコ農産物というイメージが「健康」と結びつきがちですが、本来の価値は環境への負荷を軽減することにあります。

身近な「食」からSDGsの実現を目指しましょう

有機野菜やエコ農産物を生活に取り入れることは、環境問題に対して私たちができる身近な取り組みの1つではないでしょうか。特に、あびこエコ農産物は、経済的な負担が少なく、環境への負荷軽減に加えて、地産地消にも繋がります。あびこエコ農産物は、主に水の館1階にある「あびこ農産物直売所あびこん」で購入できます。日々購入する食材から持続可能な社会の実現に向けたあなたの1歩を踏み出してみませんか。

【問い合わせ】

《あびこエコ農産物に関して》我孫子市農政課 電話 04 (7185) 1111 内線 (26-565)

《食育だよりに関して》我孫子市健康づくり支援課 電話 04 (7185) 1126